



BE THE
INSPIRATION

第 2790 地区
2018-19 年度

奉仕プロジェクト推進セミナー



2018 年 9 月 16 日(日)
TKP ガーデンシティ千葉

奉仕プロジェクト統括委員会	統括委員長	平野 弘和 (木更津 RC)
社会奉仕委員会	委員長	清水 隆 (千葉若潮 RC)
国際奉仕委員会	委員長	高橋 潤一 (新千葉 RC)
職業奉仕委員会	委員長	鵜沢 和広 (千葉若潮 RC)
青少年奉仕委員会	委員長	金本 元章 (柏西 RC)



2018-19 年度地区奉仕プロジェクト推進セミナーを開催しましたところ、地区内 83 クラブの関係委員長様に多数ご参加いただきまして誠にありがとうございます。

地区奉仕プロジェクト統括委員会の役割は、ロータリーの目的に掲げる「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」を具体的な実践につなげるためのお手伝いをすることにあります。あくまでも主役は、皆様クラブ会員です。新年度を迎えるに当たり、皆様のクラブの奉仕プロジェクト実施状況についてアンケートを実施させていただきました。ご回答いただいたほとんどのクラブで奉仕プロジェクトを実施されていました。その内容はクラブ所在地域のためのプロジェクトがほとんどでしたが、姉妹クラブ、米山奨学生 OB とのつながりから国際的なプロジェクトを実施されている事例もありました。また、青少年に向けたプロジェクトを実施されているクラブもありました。その財源として、ロータリー財団地区補助金を活用されているクラブは、全体の三分の二を占めていました。今回の調査では、複数年度に亘ってご回答いただきましたが、毎年同じ内容のプロジェクトを実施されているクラブが意外と多くあります。その地域の皆さんから喜ばれているプロジェクトなのでしょう。また、同じ内容であっても、対象者が異なっていたり、その年により若干の変更がされていたりということはあります。

さて、「ロータリーの目的」に記されている「奉仕の理念」とは、どういったことを指すのでしょうか。ロータリーに関する原典は、すべて英語で書かれていますので、日本語に翻訳する時にぴったりの日本語がない場合、若しくは概念が多少ずれる場合があります。例えば、「奉仕」という言葉から、「勤労奉仕」などという言葉連想するでしょう。しかし、ロータリーの「奉仕」の原語は、「service」です。日本語で「サービス」というと、「おまけ」「値引き」などの意味で主に使わ

れます。しかし、ロータリー関係文書を調べると、そういった狭義ではなく、「人の役に立つ」とか「人に喜ばれることをする」といった意味で使われています。「service」を「奉仕」と翻訳したことがロータリーの目的をわかりにくくしているのかもしれない。ここでは、広義での「奉仕の理念」つまり「人の役に立つことの根本的な考え」として、進めていきたいと思います。そこで実施状況調査結果を検証する必要があるのではないのでしょうか。実施しているプロジェクトが地域の皆さんの役に立っているプロジェクトなのか、ロータリアンの自己満足に終わっていないかなど、自らのプロジェクトを客観的に検証する必要があるのではないのでしょうか。特に、毎年同じ内容のプロジェクトを実施しているクラブの皆さん、初めてそのプロジェクトを実施した時の充実感、達成感は現在でも保たれていますか。恩恵を受ける地域の皆さんは、心から喜ばれていますか。年中行事のようにはなっていませんか。せっかく取り組まれるのですから、そうになっていたとしたらもったいない話ではないのでしょうか。

日本のロータリーは、間もなく 100 年を迎えます。東京ロータリークラブが誕生し、大都市を中心に急速にロータリークラブが創立され、ロータリー運動が広がっていきました。100 年後の現在、会員は減少し、ロータリー運動も目的を失っている感があります。我々は、ロータリーの何に意義を求め、ロータリアンになったのでしょうか。私たちは、今一度「ロータリーの目的」に立ち返り、日本ロータリー誕生の頃に思いを馳せ、「人の役に立つ」充実感を共に味わおうではないのでしょうか。

社会奉仕委員会では、地域社会に於いて「ロータリーの目的」に沿った奉仕活動をすべてのクラブが行っていくことが「より良い社会」を作るための活動と考えております。

各クラブの皆さんはそれぞれの地域で、草の根の奉仕活動を積み重ねられてきたことと思いますが、その根が今どの様に成長し、現在どのようになっているか実際に調査を行っていますでしょうか。奉仕プロジェクト実施完了で終わらせるのではなく、次に繋げるための調査や現状把握などを行って頂き、各クラブに於いて会員の参加活動を主軸として各委員会及びクラブ全体で検討する必要性があるのではないのでしょうか。

今回のアンケート（奉仕プロジェクトに関わる実態調査）により、提出された全てのクラブで奉仕プロジェクトが実施されていました。その中で社会奉仕プロジェクトが45%を占めておりました。重点項目では経済と地域社会の発展が半数以上を占めておりました。各クラブは地域社会の発展を第一に考えたプロジェクトを実施されています。ですが、アンケート調査結果から、毎年同じ内容のプロジェクト実施されているクラブが多くありました。基本的には単年度事業となりますが、奉仕プロジェクトの企画・立案は単年度ごとではなく、継続性を視野において運営方針を確立しておく必要があると思います。一部の会員だけに任せるのではなく、各委員会及びクラブ全体で対応検討することで、会員一人一人の輝きとなり、しいてはクラブに反映されてきます。より良い奉仕プロジェクトにするためには、クラブ全体で奉仕プロジェクトの基本を検証し取り組む事により、本来のあるべき姿が見えてくるのではないのでしょうか。

◎奉仕プロジェクトの立案から実施に当たって。

- ・ 限りある活動資金と会員の職業上の知識や経験を生かし、地域社会のニーズに沿った奉仕プロジェクトの企画・立案を検討していただきます。
- ・ これからのロータリークラブのあるべき奉仕活動の内容をクラブ会員全員で共有し、クラブ全体で取り組むことが重要となってきます。
- ・ 効果的な奉仕活動を行うには、地域社会のニーズに合った現状調査とクラブが取り組む活動をあらかじめ特定しておいた方が対応しやすいと思います。
- ・ 成果を具体的に図る、基準の取り纏め（ルール）と、クラブに合った方法で、実行スケジュールを考案してください。
- ・ 奉仕プロジェクトを実行する際には、計画に沿って行い、広報委員会と協力してクラブの公共イメージが高まるようにするとよいでしょう。
- ・ プロジェクト終了後、活動で成功した点と改善点を検討し、次回のプロジェクトに生かすようにしましょう。

国際奉仕とその歴史的経緯

ロータリーの第4奉仕部門で、国際理解、親善、平和を推進するために実施する全ての活動を言います。初期のロータリーには今日の人道的奉仕活動を主体とした国際奉仕の概念はありませんでした。しかし、第一次大戦中の1917年頃より米国やカナダ、ヨーロッパのロータリークラブが各地の避難民や傷病兵、復員してくる軍人に対するボランティア活動や物資援助を行うなど歴史的背景を受けて、「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人および地域社会のリーダーの世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」という国際奉仕の概念が、1933年に綱領の第6項目として正式に明文化され現在に至っています。

2度にわたる世界大戦を通して世界平和を願うロータリアンは、1945年には米国合衆国国務省から要請を受けて、49名が国連憲章の原案作成作業に参加したといわれています。これはロータリーの歴史の中でも特筆すべき国際奉仕活動でしょう。

個々のロータリアンの責務

世界で紛争や戦争などの有事の際には、国際ロータリーは中立を守る立場にあり、当該国のロータリークラブとロータリアンは、それぞれ国法を遵守しなければならず、これらの国々の間では友情や親睦を築く事は困難になります。つまり世界の恒久的平和の推進を願うロータリーの国際奉仕活動も、有事の際には限界があるという矛盾もはらんでいるのです。しかし、ロータリアンは個々の責務を忘れてはなりません。

1. 愛国主義にとらわれず、自分が、国際理解と親睦と平和を推進するという責務を共に負っているものとみなすべきである。
2. 国家的または人種的優越感によって行動しないようにすべきである。
3. 他国民と強調する共通の基盤を求め、これを育成すべきである。
4. 理想、言論、集会の自由、迫害と侵略からの解放、欠乏と恐怖からの解放を享受できるように、個々の自由を守る法律と秩序を擁護すべきである。
5. どこかが貧困であれば、全体の豊かさを危うくすると認識し、あらゆる国の人々の生活水準を高めようとする行動を支援すべきである。
6. 人類に対する正義の原則を高くかざすべきである。この原則は基本であり、世界的なものではないと認識すべきである。
7. 国家間の平和を推進しようと常に務め、この理想のためには個人的犠牲を払う覚悟をすべきである。
8. 実践されれば、必ず豊かで充実した人生をもたらす、倫理的・精神的基本水準が存在すると認識しながら、国際親善の一步として、あらゆる他の人々の信念を理解する心をかき立て、これを実践すべきである。
9. 国家間の関係が緊迫しているところで活動やプログラムを実施する場合には、適切な注意を払うべきである。

国際奉仕の分野

国際奉仕には世界社会奉仕活動、国際レベルの教育及び文化活動、特別月間と催し、国際的な会合の4つの分野があります。

・世界社会奉仕活動

1) 世界社会奉仕活動の歴史

世界社会奉仕活動は、発展途上国や開発途上国に対する人道的奉仕活動という新しいニーズによって、国際奉仕活動に新しい流れをつくりましたが、一方でロータリーの綱領上で国際奉仕活動の一分野であると明記されていなかったために、多くの混乱や議論を生みました。1967年に正式に国際ロータリーの常設プログラムとなり、地区とクラブは、この活動のために、WCS委員会を設置するよう推奨されています。

2) 世界社会奉仕活動とは

世界社会奉仕活動は、英語では World Community Service と記され、WCS 活動と称されています。国や行政が地域社会のニーズを満たせない発展途上国や開発途上国で、ロータリークラブも資金の制約等で奉仕活動が実践できない場合に、援助を海外の地区やクラブに求め、協力して奉仕活動を行うのが世界社会奉仕活動です。

3) 世界社会奉仕活動の要件

- ① プロジェクトが人道的奉仕活動であること
- ② 2カ国以上のロータリアンが関与すること
- ③ プロジェクトはこのうちいずれか1カ国で実施されること

4) 世界社会奉仕活動の恩恵

WCS 活動の恩恵は、援助される側の人々だけでなく、活動に参加した私達ロータリアンも享受することを実感して下さい。私達の活動によって助けられた人々の喜びを目の当たりにする時、私達奉仕を実践したロータリアンも大きな喜びを手に入れる事ができます。更なる国際理解や親睦を一層深めていく事ができるのです。奉仕の相手だけではなく、奉仕をした人自身も満たされるのが、真の奉仕と言えるのではないのでしょうか。

5) ロータリーを通じてのプロジェクトの資金調達

プロジェクトの原資となる資金は、まずロータリアン個人やクラブが提供しなければなりません。ロータリー財団から国際財団活動資金(WF)、あるいはロータリー財団から地区に供与される地区財団活動資金(DDF)として地区補助金(DSG)を利用する事も可能です。

今回のアンケートによって各クラブの国際奉仕に対する意識の高さを知ることが出来ました。しかしながら「国際」と言う言葉に憶病になっている事も考えられます。

財団の6つの重点項目はすべて、国際奉仕なのです。奉仕事業のターゲットを海外に向けることも重要です。

何ひとつ不自由のない国に生まれたロータリアンとして、広く世界に目を向ける事を願います。財団のグローバル補助金、地区補助金の有効な事業への使い方を考えるのも、自クラブの活性化に繋がるのではないのでしょうか。

今年度の地区職業奉仕委員会はこれまで日本のロータリークラブの中で語られてきた職業奉仕についての考え方を大きく変えて行く事を目標としています。PETS や地区研修協議会でもご説明して参りました通り、ロータリーの第二の奉仕部門である職業奉仕は五大奉仕のひとつの奉仕部門であり、ロータリーの奉仕活動の根本であるかのように位置づけるべきではないということです。今まで日本で語られてきた職業奉仕論は職業倫理論であって世界のロータリアンの職業奉仕に対する認識と大きくかけ離れています。全世界のロータリークラブは一つの基本理念『奉仕の理念』を持っており、それは他人のことを思いやり、他人の助けになることをするという思いです。奉仕の理念を提唱・奨励し、目に見える奉仕活動を積極的に行うことが我々ロータリアンの心の満足に繋がりロータリアンでいる意義を感じられるのではないのでしょうか。普段から自分の職業に一生懸命励んで来たからロータリアンへの道が開けたのです。そしてロータリアンに成れたのですから今度は実際の奉仕活動『超私の奉仕』を行うことが求められています。

『イノベーション』という言葉があります。最近経済ニュース等でよく耳にする単語ですが『新しい切り口・新しい捉え方』で創造する行為のことを意味します。ビジネスの世界ではみなさんの会社やみなさん個人が好むと好まざるとにかかわらず、未来に足を踏み入れてしまっています。そして次の社会に対応する為には、今こそ変化しなければならないのです。過去の栄光や成功体験はもう通用なくなっています。イノベーションが必要だということです。それができない企業や人間は、役に立たなくなつて、ビジネスの世界から退場させられることは間違いないでしょう。既成概念で凝り固まっている頭には、未来の正確な姿は見えてこないのです。ロータリーの世界でもイノベーションが必要です。確か

に今までの職業奉仕の考え方がもてはやされた時代もありましたが確実に時代は変化しています。欧米のロータリーの世界では『職業奉仕』という言葉さえ語られなくなってきました。

日本のロータリアンにとって勲章のように思われている決議 23-34 は職業奉仕について採択されたものではなく社会奉仕についてのものであります。ましてやその決議 23-34 の第4条にも「奉仕するものは行動しなければならない。従って、ロータリーとは単なる心構えのことを言うのではなく、また、ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的な行動に表さなければならない。そして、ロータリアン個人もロータリークラブも、奉仕の理論を実践に移さなければならない。」とロータリーの奉仕の哲学は単なる理念の提唱ではなく実践の哲学であり、奉仕活動を伴わなければならないと謳われています。

『イノベーション』とは新しいことをするのではなく、古い常識を捨てることです。

さあ、今こそロータリーの目的の第1、第2だけで終わることなく第3、第4の項目を積極的に奨励していきましょう。

私たち青少年奉仕委員会の使命は、地区内の各クラブに於ける青少年の支援活動の現状を把握し、クラブの今後の課題を明らかにすることで常に時代や社会の要請に的確に応える青少年奉仕活動の在り方を追求し、各クラブに提案・情報の提供等、後方支援して行くことと考えています。

各クラブの奉仕活動に対する努力は、アンケート集計結果にもあるように各クラブともロータリーの理念に沿った活動を実施しており、青少年に対する奉仕活動も一定の成果を上げていますが、一部の領域で硬直化が進み会員の意識のばらつきが見受けられます、結果から浮き彫りにされた2790地区の課題は、第一に青少年奉仕活動やプログラムに対する関心は薄く、全会員が興味を示すあるいは、会員の顔が見えない会員不在の運営になっていないか、会員が目的や役割を理解していないことが多いのではないのでしょうか。前例主義や総花主義の「伝統」やクラブの運営の骸化・硬直化を打破し、時代や社会に対応した、柔軟かつ重点的で透明性の高い運営を目指していただきたいと思います。

次に、大規模地震と大津波により、就学の道を閉ざされた青少年に対して、未来に繋げる支援活動を行っております。ロータリー希望の風奨学金の詳しい内容は、本日お配りしたパンフレットをご一読下さい。また、当地区のホームページに希望の風「風の便り」にて、現況報告が毎月更新されております。本年度は、実務はガバナー事務所となっておりますが、当委員会が窓口となっております。今後も継続してまいります。ご理解とご協力をお願いします。

最後にアンケートにご協力を頂いた地区内各クラブの皆様には厚く御礼を申し上げますとともに、セミナーに御参加頂いたロータリアンの皆様には心より感謝申し上げます。今後の皆様のご活躍を祈念申し上げます。

●参考事例紹介

特定非営利活動法人 NGO 未来の子どもネットワーク

「無料塾」と 「子ども食堂」を訪問して



●柏西ロータリークラブによる具体例

2022年度の成人式を迎えるにあたって 相対的貧困家庭への 【晴れ着無料貸し出し】の取り組み

成人年齢引き下げにより、卒入学～成人式までの期間が短くなります。レンタル業者の特需による価格高騰なども予想され、貧困家庭に育った若者たちは、晴れの日である成人式に着る衣装を揃えるための費用の工面など、難しい状況を迎えるはずです。そうした家庭へのサポートをする取り組みです。



原田 義之 氏

(1943 年 6 月 11 日生 74 歳)

1943 年福島県生まれ

県立福島高校卒業後、慶應義塾大学商学部

近畿大阪銀行を経てフジマサ機工(株)とゼオテック(株)代表取締役歴任

国際ロータリー第 3360 チェンライ RC パスト会長 (2013-14)

アカ族子供就学基金 代表

タイ国国立ダムロンラートソククロ高校 (日本語、日本文化担当) ボランティア教師

神戸市教育委員会 生涯センター (国際関係論) 講師



【主要奉仕暦】

- ・北タイ・チェンライ県内 32 小学校に 16 年間図書寄贈
- ・NPO 法人「JALET」設立 公的活動認定
 - 2007 年 日本国外務省より日タイ修好 120 年推進事業に認定
 - 2008～13 年 兵庫県 国際協力協会助成金認定 6 回
 - 2010 年 アサヒビール・ワンカップ国際奉仕賞受賞
 - 2014 年 国際ロータリー会長賞受賞 (ロンドバートン)
 - 2014 年 タイ王国チェンライ県 県知事賞受賞
 - 2015 年度～2017 年、2 回タイ国アカ族協会会長賞受賞
- ・個人の国際奉仕活動として
 - 2008～現在 10 年間ダムロン高校ボランティア日本語教師
 - 2009 年～現在 少数民族・アカ族に対する支援活動
 - アカ族子供に現地に我が身を移して「就学&識字向上」支援
 - 人類的課題「エイズ、麻薬、人口問題」の根源支援として
 - アカ族婦女子 (特に子供) に「識字率向上」奉仕と里親支援を続ける。
 - 今日でも 10 年間アカ族子供寮「夢の家」「若竹寮」「メコーン寮」
 - 「センスック寮」146 人に「就学支援」
 - アカ族貧困子供の里親支援、今現在 16 人支援中

【著書】

「輝く瞳に会いに行こう」 幻冬舎ルネッサンス 2011 年初刊 (現在第 5 版重刷済)

新刊発刊「続・輝く瞳に会いに行こう」 梓書院 2017 年 5 月 初刊 (現在第 2 版重版済)

【講演実績】

全国のロータリー関係卓話講演を 260 回

(含む東京中央区分 IM 記念講演・・2017 年 11 月 13 日、
各地区講演、各ロータリークラブ創立、周年「記念講演」等)

その他全国大学、高校、教育委員会での講演多数

過去5年間の奉仕事業リスト

アカ族子供就学支援基金・・・略称「アカ族子供支援基金」

◎青少年育成支援

アカ族子供寮「夢の家」
アカ族4寮生154人

寮生制作民芸品販売
生活物資支援

都城東高校 I A C
「アカ族子供支援基金」



タイ&ミャンマー・アカ族 子供対抗サッカー「アカ・カップ」支援
「アカ族子供支援基金」
メジャイ・ヴィタヤコム高校 古シューズ1千足支援 大分舞鶴高校 I A C



メジャイ・ヴィタヤコム高校 ジャケット500着支援
大分中央RC & 大分舞鶴高校 IAC



メジャイ・ヴィタヤコム高校 教材ノート300冊支援 静岡西RC



◎建物 & 設備改修支援

アカ族子供寮「若竹」 土塀壁面改修工事
熊本西南RC & 「アカ族子供支援基金」



アカ族子供寮「若竹」女子寮二重天井改造工事支援

アカ族子供寮「夢の家」食堂改造工事支援

アカ族子供寮「メコーン」研修室改造支援

アカ族子供寮「パデゥア」天井改修工事

アカ族子供寮「センスック」歩廊全長150M改修工事

アカ族子供寮「センスック」女子寮改修工事

アカ族子供寮「センスック」調理室改修工事

アカ族子供寮「センスック」男子寮改修工事

アカ族子供寮「センスック」女子寮第2期改修工事

台湾・基隆東南 R C

いわき平中央 R C

野辺地 R C

大阪梅田 R C & アカ族子供支援基金

富山みらい R C

いわき平中央 R C

いわき平中央 R C

富山みらい R C

大阪梅田 R C & アカ族子供支援基金



◎衛生 & 水支援

アカ族子供寮「夢の家」 トイレ5穴&シャワールーム新設	松原中RC
アカ族子供寮「夢の家」 トイレ2穴新設	横浜あざみRC
ミャンマー・アカ族子供寮「ボダ」 トイレ新設	岡山南RC



アカ族バーン・ボン村浄水施設新設	二本松RC
アカ族ホイ・メーサイ村浄水施設新設	富山IM
アカ族ホイ・アユ村浄水施設新設	人吉中央RC
アカ族メーモン村浄水施設新設	加賀白山RC



アカ族ホイ・アユ村浄水施設新設
 アカ族ムーバン・アイジャン村浄水施設新設
 アカ族マーサン村浄水施設新設
 アカ族バーン・パルアン村浄水施設新設
 アカ族ホイ・メーチャン村浄水施設新設
 アカ族ターン・トーン村浄水施設新設
 アカ族子供寮「若竹」浄水施設新設
 アカ族子供寮「センスック寮」浄水施設新設

人吉中央RC
 加賀RC
 蓮田RC
 二本松RC
 2680IAC
 岡山南RC & 川崎西RC
 アカ族子供支援基金
 奈良大宮RC



アカ族子供寮「夢の家」浄水施設新設
 アカ族バーン・ホワイナム校浄水施設新設
 アカ族パデゥア小学校浄水施設新設
 アカ族メーモン小中校 浄水施設新設
 アカ族ホイ・メーサイ小学校 浄水施設新設

山口県央RC
 二本松RC
 大阪梅田RC
 加賀白山RC
 富山IM



チェンライ養護学校浄水施設新設 3 基新設
 ローバーハー校浄水施設新設
 アヌバン・ナーレ校浄水施設新設
 ホイ・サンヤオ小学校浄水施設新設
 ドン・ジャィ中高校浄水施設新設
 メーモン保育園浄水施設新設
 ホイ・アユ小学校浄水施設新設
 ポングプアプン小学校浄水施設新設
 ホイ・サンヤオ中学校浄水施設新設
 アヌバーン・ナーレ校浄水施設新設

益田西 R C
 蓮田 R C
 奈良 R A C & アカ族子供支援基金
 アカ族子供支援基金
 R C 2 6 4 0 地区 I M
 松原中 R C
 人吉中央 R C
 N P O 神戸
 杵築 R C
 高石 R C

アカ族子供寮「夢の家」 2 5 名 歯科検診

山口中央 R C



◎設備 & 備品拡充支援

チェンライ養護学校

教育玩具一式支援

大分中央 R C



アカ族子供寮「センスック」 台所厨房機器新調
 アカ族子供寮「若竹」 天井扇風機 25 台
 メジャイ・ヴィタヤコム高校 プロジェクター機器 1 基
 ホイ・アユ小学校図書室拡充
 アヌバーン・ナーレ校 コンピューター 5 台
 アカ族子供寮「夢の家」 コンピューター 1 台
 アカ族子供寮「若竹」 コンピューター 1 台
 ホイ・サンヤオ小学校 コンピューター 5 台

NPO 神戸
 富山みらい RC
 大分中央 RC
 人吉中央 RC
 高石 RC
 都城東高校 IAC
 アカ族子供支援基金
 いわき平中央 RC



◎自活サイクル支援

アカ族子供寮「若竹」 鶏小屋 1 棟 & 鶏 110 羽
 アカ族子供寮「夢の家」 豚小屋 1 棟 & 豚 11 頭
 アカ族子供寮「夢の家」 豚輸送運搬車 1 台

岡山北西 RC
 山口県央 RC
 山口県央 RC



アカ族子供寮「センスック」 耕運&田植え機 1 台
あずみのRC&安曇南農業高校 IAC



◎基本的教育&識字向上支援

アカ族子供寮「夢の家」寮生 25 人 1 泊 2 日の社会見学の旅 山口県央RC



アカ族子供寮「メコーン」 図書支援
 アカ族子供寮「メコーン」 図書支援
 アカ族子供寮「センスック」 図書支援
 アカ族子供寮「若竹」 図書支援
 アカ族子供寮「夢の家」 図書支援
 アカ族子供3寮 図書支援

野辺地RC
 岡山北西RC
 2680地区IAC
 行田RC
 東京お茶の水RC
 高石RC



ホイ・サンヤオ校
 ホイ・アユ小学校
 アヌバーン・ナーレ校

図書支援
 図書支援
 図書支援

NPO神戸
 人吉中央RC
 高石RC





◎ I A C 海外研修スタディー支援

ダムロン高校日本語科学生交流
ダムロン高校日本語科学生交流

2640 地区 I A C
2680 地区 I A C



◎給食支援

アカ族4寮生154人 給食支援

「アカ族子供支援基金」



アカ族4寮生154人 アカ族親から5トンお米買い上げ支援

「アカ族子供支援基金」



◎就学支援

アカ族4寮生27人
アカ族大学生2人

里親支援
奨学支援

「アカ族子供支援基金」
「アカ族子供支援基金」



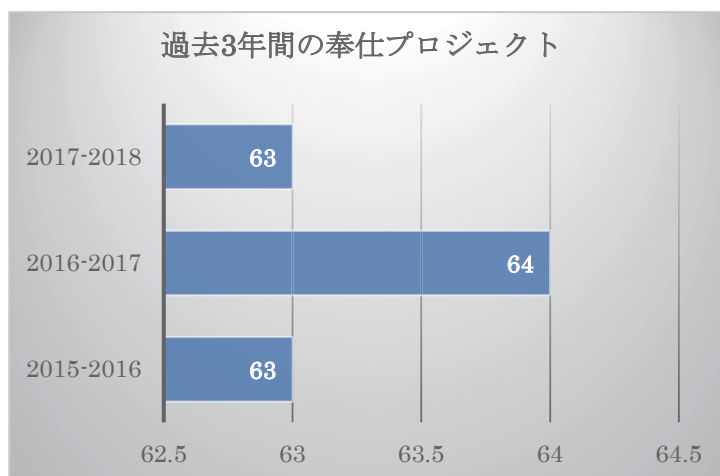
■過去3年間各クラブの奉仕プロジェクト

83 クラブ（63クラブ提出 / 18クラブ未提出）

2015-2016 63 プロジェクト

2016-2017 64 プロジェクト

2017-2018 63 プロジェクト



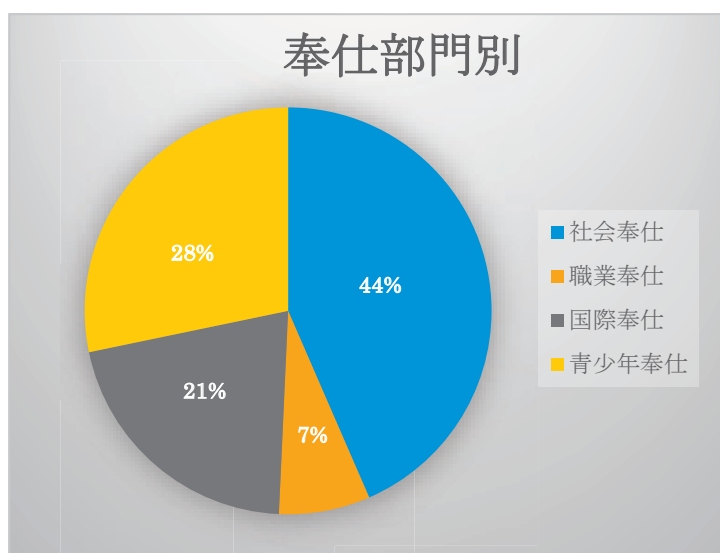
■奉仕部門（社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕）

社会奉仕プロジェクト 44

職業奉仕プロジェクト 7

国際奉仕プロジェクト 21

青少年奉仕プロジェクト 28



■重点項目

平和と紛争予防 / 紛争解決 2

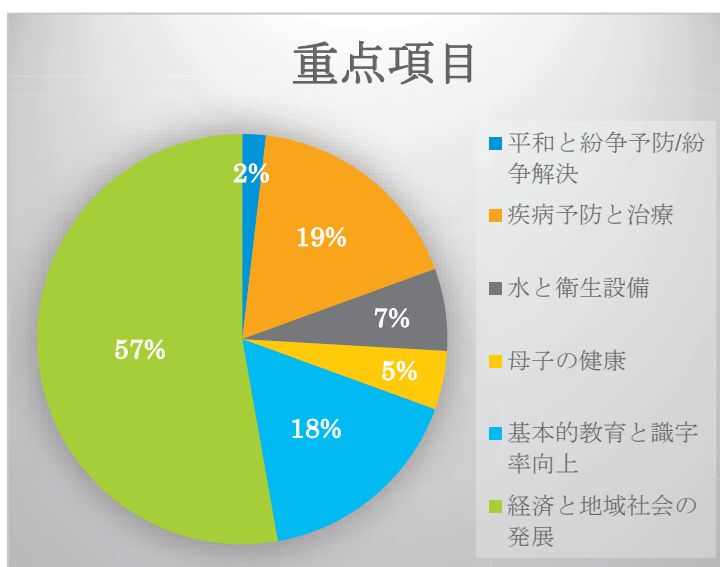
疾病予防と治療 19

水と衛生設備 7

母子の健康 5

基本的教育と識字率向上 18

経済と地域社会の発展 57



■ロータリー財団地区補助金を活用している。

- しているクラブ 45 クラブ
- していないクラブ 20 クラブ

■国際奉仕活動でプロジェクト実施による海外ロータリークラブとの関係

- 姉妹クラブ 11 クラブ
- 友好クラブ 4 クラブ
- 米山奨学生 1 クラブ
- その他 4 クラブ

■奉仕活動を実施する上で障害となる事（23 件）

- 会員の高齢化 4 クラブ
- 考え方の相違 2 クラブ
- 会員の減少 6 クラブ
- 活動資金と会員の不参加 5 クラブ 以下 1 クラブの回答
- ロータリー活動とニーズの格差。
- 事業の帰着点を明確にしておく必要がある。目的の遂行がなしえた段階で事業の見直しなり終結の判断をしなければ会員への協力は図れず年々重荷となる可能性がある。
- 国際奉仕は移動距離と参加率、費用負担、相手国の信頼性が問われる。
- 参加者が限定されている傾向にあり、全会員が興味を示し参加できるよう努力する。
- 海外交流の経験が乏しい。
- クラブ予算が財政上厳しく規模の拡大や新規の奉仕活動への取り組みが難しい。

■地区奉仕 PJ 委員会への要望

- ロータリーの目的、理念、の講演要請。
- 他クラブの活動と連動、連携できる情報が知りたい。
- 参考の為に、全てのクラブの奉仕プロジェクト内容の開示をお願いしたい。
- グループでの奉仕プロジェクトを考えています。何かアドバイスをお願いしたい。
- 評価が高いと判断される奉仕活動に特別な理解と応援が欲しい。
- 他クラブで実行されてる参考になるような奉仕活動を紹介して欲しい。
- 地区補助金の申請に関して、単年度ではなく、プロジェクト内容に継続価値が有する様であれば複数年度にわたる申請も考慮して欲しい。
- 他クラブが行っているプロジェクトで参考になる奉仕活動を紹介して欲しい。
- 他クラブが行っているプロジェクトで特色ある取り組みを紹介してほしい。
- 地区内全クラブへの P R 広報活動として奉仕プロジェクトの情報を共有したい。
- ラオス国支援についてグローバル補助金は申請出来るか？
- 地区補助金の申請に関する必要・添付書類について簡素化の検討をして欲しい。
- グループでの合同による活動等へ方向性を検討して欲しい。
- 情報の共有化を徹底し、更に熟知、周知する必要性を考えて欲しい。
- 他クラブの行っているプロジェクト内容の情報を共有したい。
- 他クラブの活動状況の報告、苦労話を含む奉仕活動の実施報告をお願いします。
- 地区補助金を活用したプロジェクトの実施を考えているが、低予算でできるプロジェクトのアイデアが手詰りな状態になっているので、地区及び全国の奉仕プロジェクトについての過去に遡っての事例を教えて欲しい。
- 通常例会が夜間だが（PM7：00 から）卓話に来て欲しい。
- カンボジア助産婦養成支援事業を地区内複数のクラブまたは、2790 地区として取り組めるように働きかけて欲しい。
- ロータリーの「奉仕」の在り方についての啓発。
- グローバル補助金を検討中ですのでご指導をお願いします。
- グループ内で共同プロジェクトの提案・情報の共有をしたい。
- 地区とクラブの関りをもっと密にするため、一般の会員が自由に参加できるルールを考えて欲しい。
- クラブの大小にかかわらず、奉仕活動の事例を発信して欲しい。
- 希望の風小委員会における今後の計画詳細を詳しく知りたい。

Rotary

